

授業科目 NO. 705 公衆衛生看護学方法論Ⅱ (対象別公衆衛生看護活動論)

Public Health Nursing II
(Targeted Public Health Nursing)

授業の形態： 講義
単位数(時間数)： 4単位(60時間)
開講年次・学期： 3年次・後期
必修・選択の別： 選択・保健師選択コース必修
キーワード： 発達段階別保健指導、疾病・障害別保健指導、
公衆衛生看護活動

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

発達段階や疾病・障害に応じた法制度・保健福祉の動向と特徴、健康課題を捉え、対象の生活環境や健康状態を評価し支援する公衆衛生看護活動の技術・方法を修得することを目標とする。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 発達段階に応じた法制度・保健福祉の動向と特徴、健康課題を説明できる。(②③⑤)
- (2) 発達段階に応じた、対象の生活環境や健康状態を評価し支援する公衆衛生看護活動の技術・方法を説明できる。(①②③)
- (3) 疾病・障害に応じた法制度・保健福祉の動向と特徴、健康課題を説明できる。(②③⑤)
- (4) 疾病・障害に応じた、対象の生活環境や健康状態を評価し支援する公衆衛生看護活動の技術・方法を説明できる。(①②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	100%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

- 1) 各項目（母子保健、成人保健、高齢者保健、障害者保健、精神保健、難病、感染症、歯科保健）の時間数をもとに総合評価をおこなう。
- 2) 定期試験は中間試験と期末試験の2回に分けて実施する。

5 教育担当者

科目責任者 塚本 陽子

准 教 授 寺西 敬子 (公衆衛生看護学)

講 師 塚本 陽子 (公衆衛生看護学)

講 師 瀧口 知彌 (公衆衛生学)

助 教 妹尾 美咲 (公衆衛生看護学)

非常勤講師 茅山 加奈江

6 教育担当者の実務経験

担当教員は講義内容に係る実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院 最新版
- 2) 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 2024/2025
- 3) 国民の福祉と介護の動向 厚生労働統計協会 2024/2025
- 4) 公衆衛生看護学.jp インターメディカル 第5版

8 推 薦 参 考 書

新版 保健師業務要覧 日本看護協会出版会 最新版

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。
- 2) 保健所および市町村に働く保健師活動をイメージしやすくするため、公衆衛生看護学概論Ⅰの「行政保健」や公衆衛生看護学概論Ⅱの「公衆衛生看護活動の場（行政）」を復習して、受講

してください。

- 3) 各看護学領域および保健統計等で履修した学習をふまえて講義を行います。十分に復習して、受講してください。
- 4) 講義の最後に次回講義にあたっての課題を提示します。必ず予習・復習して授業に臨んでください。
- 5) 講義内容に関する具体的な情報は、こども家庭庁ホームページ (URL: <https://www.cfa.go.jp/policies/>) および厚生労働省ホームページ (URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/index.html) に掲載されている。講義受講後にこれらの情報源にアクセスし、講義内容に係る情報を収集し、理解した内容をノートにまとめておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

毎回の講義後の感想や意見質問等には、次の講義時に全体にフィードバックする。
提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

配布資料は1つにファイルし、毎回持参してください。
保健師選択コースの資料は、まとめていつでも振り返り学修ができるようにしておくこと。

12 オフィスアワー等

質問は e-mail で受け付けます。
寺西：k-tera@kanazawa-med.ac.jp
塚本：y-tsuka@kanazawa-med.ac.jp
妹尾：sawa@kanazawa-med.ac.jp
灌口講師、非常勤講師への連絡方法は講義の時に紹介します。

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月12日(火)	1	講義	オリエンテーション 母子保健の動向と健康課題		公衆衛生看護学	塚本講師
後	2	11月12日(火)	2	講義	母子保健における法制度と保健施策		公衆衛生看護学	塚本講師
後	3	11月13日(水)	1	講義	妊娠から産褥期の人々への保健活動		公衆衛生看護学	塚本講師
後	4	11月13日(水)	2	講義	新生児・乳幼児期の人々への保健活動		公衆衛生看護学	塚本講師
後	5	11月15日(金)	1	講義	支援のニーズを持つ子どもと家族への保健活動1		公衆衛生看護学	塚本講師
後	6	11月15日(金)	2	講義	支援のニーズを持つ子どもと家族への保健活動2		公衆衛生看護学	塚本講師
後	7	11月19日(火)	1	講義	感染症対策の動向と健康課題		公衆衛生看護学	塚本講師
後	8	11月19日(火)	2	講義	感染症に関する法制度・保健施策		公衆衛生看護学	塚本講師
後	9	11月20日(水)	1	講義	感染症の予防における保健活動		公衆衛生看護学	塚本講師
後	10	11月20日(水)	2	講義	結核対策における保健活動		公衆衛生看護学	塚本講師
後	11	11月22日(金)	1	講義	感染症危機管理における保健活動1		公衆衛生看護学	塚本講師
後	12	11月22日(金)	2	講義	感染症危機管理における保健活動2		公衆衛生看護学	塚本講師
後	13	1月9日(木)	1	講義	成人保健の動向と健康課題		公衆衛生看護学	茅山非常勤講師, 寺西准教授
後	14	1月9日(木)	2	講義	成人保健における法制度・保健施策		公衆衛生看護学	茅山非常勤講師, 寺西准教授
後	15	1月10日(金)	1	講義	成人期の人々への保健活動		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	16	1月10日(金)	2	講義	健康上のリスクを持つ成人期の人々への保健活動		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	17	1月14日(火)	1	講義	高齢保健の動向と健康課題		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	18	1月14日(火)	2	講義	高齢保健における法制度・保健施策		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	19	1月16日(木)	1	講義	高齢期の人々への保健活動		公衆衛生看護学	特別講師櫻井保健師, 寺西准教授, 塚本講師
後	20	1月16日(木)	2	講義	健康上のリスクを持つ高齢期の人々への保健活動		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	21	1月21日(火)	1	講義	障害者保健の動向と健康課題		公衆衛生看護学	妹尾助教, 寺西准教授
後	22	1月21日(火)	2	講義	障害を持つ人々への保健活動		公衆衛生看護学	妹尾助教, 寺西准教授
後	23	1月23日(木)	1	講義	精神保健の動向と健康課題、保健施策		公衆衛生看護学	妹尾助教, 寺西准教授
後	24	1月23日(木)	2	講義	精神障害を持つ人々への保健活動		公衆衛生看護学	妹尾助教, 寺西准教授
後	25	1月28日(火)	1	講義	心の健康づくりを支える活動		公衆衛生看護学	妹尾助教, 寺西准教授
後	26	1月28日(火)	2	講義	歯科保健の動向と歯科保健活動		公衆衛生学、公衆衛生看護学	瀧口講師, 塚本講師
後	27	1月30日(木)	1	講義	難病とともに生きる経験		公衆衛生看護学	特別講師患者会代表, 寺西准教授, 妹尾助教, 塚本講師
後	28	1月30日(木)	2	講義	難病を持つ人々への地域ケアシステムの構築		公衆衛生看護学	特別講師難病相談支援センター保健師, 寺西准教授, 妹尾助教, 塚本講師
後	29	1月31日(金)	1	講義	難病保健 グループワーク 発表会		公衆衛生看護学	妹尾助教, 塚本講師, 寺西准教授
後	30	1月31日(金)	2	講義	難病保健 グループワーク 発表会		公衆衛生看護学	妹尾助教, 塚本講師, 寺西准教授